

平成26年度「キャリア教育・就労支援等の充実事業」成果報告書

受託団体名	徳島県教育委員会
-------	----------

I 概要

1 モデル地域の概要

①モデル地域の種類 ※Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型のいずれかに○を付してください。

<input type="checkbox"/>	Ⅰ型（連携型：特別支援学校高等部及び高等学校の連携）
<input checked="" type="checkbox"/>	Ⅱ型（単独型：特別支援学校高等部のみ）
<input type="checkbox"/>	Ⅲ型（単独型：高等学校のみ）

②モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
徳島県	特別支援学校	知的	徳島県立国府支援学校（とくしまけんりつ こくふしえんがっこう）
徳島県	特別支援学校	知的，病弱	徳島県立みなと高等学園（とくしまけんりつ みなとこうとうがくえん）

2 研究課題

特別支援学校における就職率の向上を図るため、就業体験協力事業所の確保と、特別支援学校高等部生徒の就労に対する動機付けを高める取組を展開する。また、学校現場におけるキャリア教育を推進するために、産業界や労働等の業務を行う関係機関との効果的な連携方法を構築する。

3 研究の概要

特別支援学校に在籍する障害のある生徒は、生徒の多様な障害特性や就労ニーズに応じ、従来よりも多くの事業所等を訪問し、就業体験協力事業所を開拓する必要がある。そこで、事業所における障害者雇用担当の経験者などを「就職支援コーディネーター」として特別支援学校に配置し、進路指導主事をサポートする体制を整え、事業所の就労ニーズ・雇用状況の情報収集・就業体験協力事業所及び就労先の開拓等を行うことにより、職業自立を目指す生徒一人一人に応じた就労支援を推進する。また、各特別支援学校では、雇用が期待される事業所に就労するための技能検定（ICT，ビルメンテナンス，接客，介護）を実施し、生徒の就労につなげるためのスキルアップを図るとともに、直接事業所との意見交換を行い、事業所の方から直接指導を受けることにより、より効果的な事業所への就労を促進する。また、特別支援学校ゆめチャレンジフェアを開催することにより、企業からの雇用ニーズや就労するために必要な情報収集を図り、障害者の働く意欲の向上を目指すことで、特別支援学校生徒の就職率を30%に向上させる。各モデル校においては、地域や産業界等と十分な連携・協力を図り、効果的な連携方法を構築し、前述した取組を体系的なキャリア教育として推進する。

4 研究の成果

1 就職支援コーディネーターについて

就職支援コーディネーターによる職場訪問回数は976回、訪問事業所数は、589事業所であった。その内、就業体験の受け入れ協力をいただいた事業所は117事業所となり、本年度新規に就業体験を実施した事業所数は40事業所となった。就職支援コーディネーターの積極的な職場開拓により、26年度の就職率は30%を超えることができた。

2 技能検定について

受検者数が増加（平成26年度は353名が受検）し、県内の各特別支援学校では技能検定の学習内容を教育課程へ位置づける学校が増えてきた。また、技能検定を活用した結果、学習場面における指導目標や指導方法が明確になり、生徒の技能の習得、自信や就労に向けた意識の向上を図ることができ、大きな成果をあげることができた。そして、技能検定実施に必要な検定評価表やマニュアルの開発、改善を進めることができた。

3 特別支援学校ゆめチャレンジフェアについて

特別支援学校ゆめチャレンジフェアは、徳島県教育委員会、徳島県商工労働観光部労働雇用課、徳島労働局・ハローワークの三者が主催、連携し取り組む貴重な機会となった。

また、後援として経済5団体が協力、協賛し、徳島県内の障害者雇用を進める企業ネットワークとの連携も図ることができた。また、企業募集については、徳島労働局・ハローワークや就職支援コーディネーターが効果的に連携を行った結果、40社の企業が参加した。

5 課題と今後の方策

1 就職支援コーディネーターについて

就業体験を受け入れていただく協力事業所が増えたことにより、次年度以降の取組として、企業と特別支援学校生徒とのマッチング強化を図ることが重要だと考えられる。

2 技能検定について

参加校や受検者が増加したことにより、評価基準等の共有化を進める必要がある。具体的には、「指導マニュアル」や「指導DVD」を活用した指導を進めたり、技能検定指導者研修会（実技研修、審査演習）を実施し、審査員認定教員の養成を進めることが必要である。

3 特別支援学校ゆめチャレンジフェアについて

今後は、就職希望者の就業体験協力事業所を増やし、マッチングを強化するために、「キャリア教育・就労支援等の充実事業」を活用し、商工労働観光部労働雇用課や徳島労働局・ハローワークと十分に調整を図りつつ、特別支援学校に配置した就職支援コーディネーターを中心に事業所開拓を行う。また、西部テクノスクールと連携した技能検定の開発や商工労働観光部労働雇用課や徳島労働局・ハローワークと連携した、徳島県における企業ネットワーク作りに取り組むことが喫緊の課題である。